

令和6年度サケ来遊状況及び令和7年度サケ来遊予測

令和7年8月13日
宮城県水産技術総合センター

1 令和6（2024）年度の宮城県及び全国のサケ来遊状況

（1）宮城県

- ・宮城県のサケ来遊数は、8,665尾（沿岸捕獲3,205尾、河川捕獲5,460尾）となり、前年度比で90%となりました。
- ・令和6年度の来遊数は、昭和52年度以降では最も少ない結果となり、引き続き非常に低い水準が続いています。
- ・年齢別の内訳をみると、4年魚（6,176尾、前年比148%）では前年より増加したものの、3年魚（2,112尾、同46%）および5年魚（326尾、同40%）では前年より減少していました。

（2）全国 ※1

- ・全国のサケ来遊数は1,790万尾（対前年比78%）となり、平成元年以降で最も少なくなりました。
- ・北海道の来遊数は1,770万尾（対前年比78%）となり、平成元年以降で3番目に少なく、本州の来遊数は208.3千尾（対前年比73%）で、平成元年以降で最も少なくなりました。

※1 国立研究開発法人水産研究・教育機構（以下、水研機構）調べ

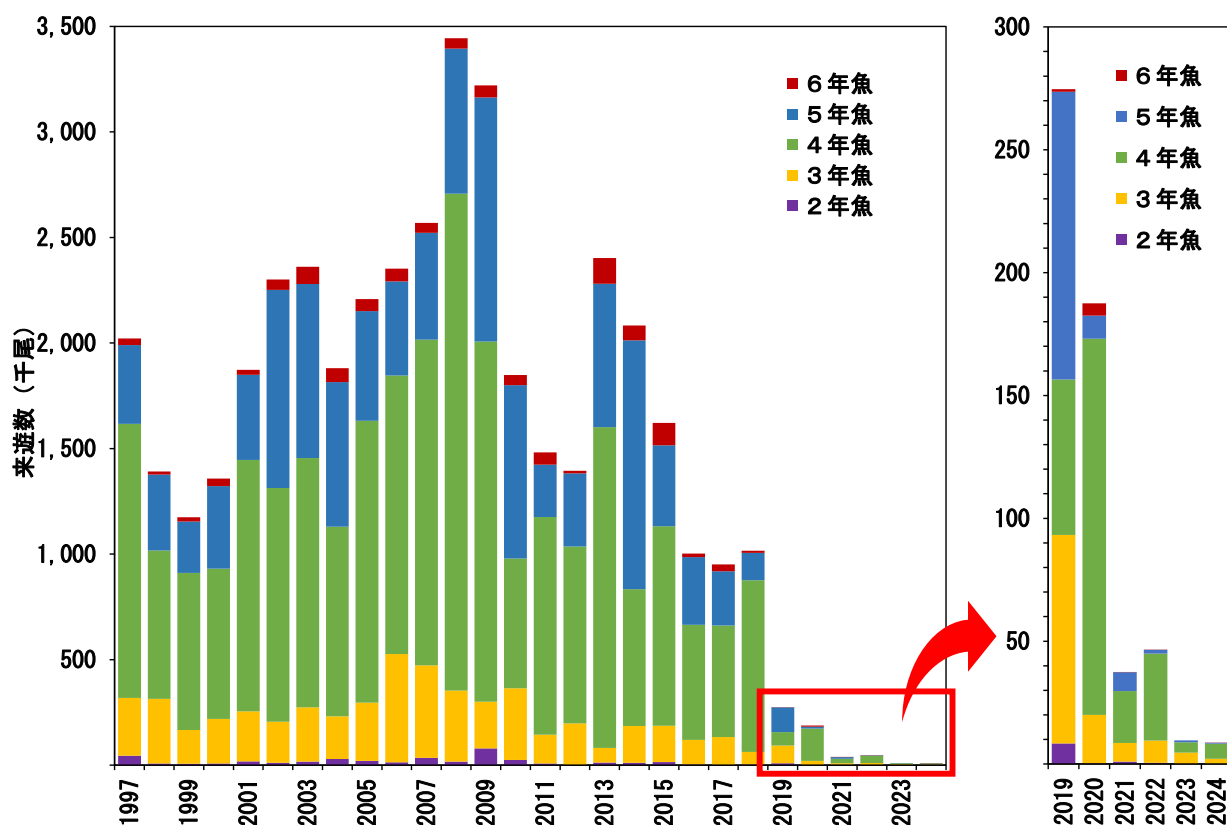


図1 宮城県の秋サケ来遊数（年齢別）の推移

2 令和7(2025)年度サケ来遊予測

令和7年度来遊予測値：6千尾（3千～9千尾となる確率が約80%）

【参考】

令和6年度来遊予測値：1万尾 7千～1万6千尾となる確率が約80%

令和6年度来遊実績値：8,665尾

- ・ 令和7年度の来遊予測値は、6千尾（3千～9千尾）と予測され、令和6年度の来遊実績値を下回る予測となり、これまででもっとも低い予測値となりました。
- ・ 来遊数が極めて低い状況は、今後も継続するものと考えられます。
- ・ 令和6年度の来遊実績（8,665尾）は来遊予測値（7千～1万6千尾）の範囲内でした。

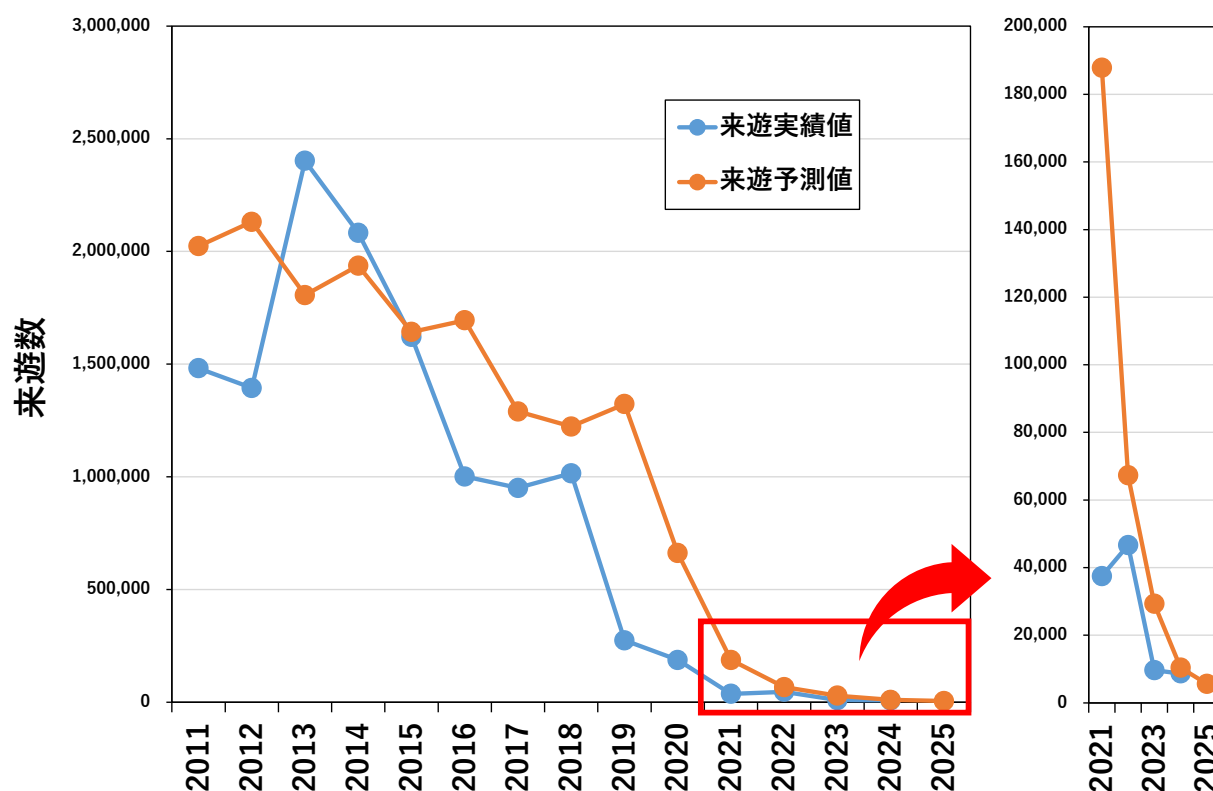


図2 宮城県の秋サケ来遊予測値と実績値の推移

- 本県のサケ来遊は秋季の沿岸海況にも影響を受けます。海況の予測については、水研機構水産資源研究所が発表する情報(東北海区海況情報)を参考にしてください。

東北海区海況情報 <https://ocean.fra.go.jp/predict/index-j.html>